

EBPM強化及び改革の工程の具体化に向けた進め方について（案）

- 「経済財政運営と改革の基本方針2024」（令和6年6月21日閣議決定。以下「骨太方針2024」という。）に基づき、本年末までにEBPMの強化策及び経済・財政一体改革の工程を具体化するとともに、毎年改革の進捗管理・点検・評価を実施する。
- 各WG及びEBPMアドバイザリーボードは、以下のポイントを踏まえ、議論を進める。

《 検討のポイント 》

1. 「予算の全体像」（令和6年7月29日諮問会議決定）に盛り込まれた10の重要政策・計画について、各省等や有識者からヒアリングを行い、政策体系、検証仮説、データ収集手法、分析手法・体制及び政策への反映方法等を整理し、「EBPMアクションプラン」を策定する。
2. 骨太方針2024第3章「経済・財政新生計画」及び過去の改革工程表に盛り込まれた制度改革等について改革事項とスケジュールを明確化する。各WGにおいて、検討事項を抽出し、各省等や有識者からヒアリングを行い、改革の工程の具体化に結び付ける。
3. 過去の改革工程表や「経済・財政新生計画」に新たに盛り込まれた課題・取組に加え、過去のWGにおいて今後の検討事項となっていた論点につき、現状分析を行い、政策目標・KPI等の見直しの方針を整理する。これらを踏まえ、来春にかけて改革の進捗管理・点検・評価を行い、当該点検・評価を踏まえ翌年以降の骨太方針策定の議論に繋げる。

今後のスケジュール（案）

9月24日

第48回 経済・財政一体改革推進委員会
第15回 EBPMアドバイザリーボード
(合同会議)

各WG、EBPMアドバイザリーボード(複数回)

年内

経済・財政一体改革推進委員会

- 制度改革の工程の具体化
- EBPMアクションプラン
- 政策目標・KPI等の見直しの方針



経済財政諮問会議

来年以降

経済・財政一体改革推進委員会

- 改革の進捗管理・点検・評価の議論